

古賀志山(中尾根コース)山行報告

【山行日】2017年7月2(日) 曇り後晴れ

【集 合】栃木市運動公園 P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 800円

【メンバー】CL:鈴木、石川、関、鶴見、藤原

【コースタイム】栃木市運動公園 P4:00=赤川ダム

奥 P5:00/5:15~細野ダム登山口 5:25~

軍艦岩 5:55~496m P6:25~ベンチへの分岐 6:45

~559m P 分岐 7:00~559m P7:20/7:30~

富士見峠 8:05~古賀志山 8:20/8:30~

御嶽山 8:55/9:05~東稜見晴台 9:30~

赤川ダム奥 P10:35~森林公園 P10:45/11:15=象の家 11:30/13:10=栃木市運動公園 P14:10

今日は夏山山行トレーニング第2弾として、四阿山を計画したが荒天の為に中止にした。

「何処かトレーニング山行をお願いします」との要望があり、天気予報とにらめっこして古賀志山を計画した。古賀志山の中尾根コースは、鎖場や難場通過の良いトレーニングコースであり、距離も



歩けるので絶好のトレーニングコースである。午後から雨の予報なので、午前中に下山するため栃木市運動公園を4時に出発する。

森林公園 P でTさんと待ち合わせ、トイレを済ませて赤川ダム奥の駐車場へ車を止める。

準備を整え、ストレッチを済ませて出発する。赤川沿いに北に進み、赤川を壊れた橋で渡りすぐ右に踏み跡を辿って細野ダム堰堤を左側から越え、東屋の西側が尾根の取付き点である。

ここから細い踏み跡を辿って登り、途中の分岐を

左に進むと鎖場がある鞍部に出る。休憩を取り呼吸を整え、衣服調整をして水分を補給する。

蒸し暑くここまでの登りでもかなり汗をかいていた。ここから先は鎖場が続くので、ストックはザック

に付け岩場の登り方を教えながら登る。

岩が濡れているので滑りやすく、恐々登っていたがしだいに慣れて来て会話も聞こえるようになって来た。

いったん下って、さらに3ヶ所目のクサリ場を登り切ると軍艦岩に出る。ここからは筑波山や加波山が一望でき、景色を楽しみながらスイカをいただく。この先は主稜線を忠実にたどり、496mピークの先を左に回り込んで下ると鞍部に出る。さらに尾根道を進み下った所が北登山道ベンチへの分岐で石を積ん



だケルンがある。ここから右に巻道があるが、主稜線を外さず直進しアップダウンのある岩の尾根を登って行く。最後のクサリ場の大きな岩の手前が559mピークへの分岐で、右に植林帯を巻くよ



うに進むと左に登るようになる。急な岩場を頑張ると尾根に出て、左に緩やかに進むと559mピークに着く。休憩し、これから登る古賀志山を眺めながら、キーウィや菓子を食べエネルギーを補給する。ここからほんの少し西に進むと富士見峠への分岐に出て、左に下って富士見峠に向かう。尾根通しに進むと伐採地に出て、ここからの眺望は素晴らしい。尾根をさらに下り、下り切った鞍部が富士見峠だ。峠から直進し、20分足らずで古賀志山山

頂に着く。早い時間にもかかわらず、登山者が数名居て野良ネコと遊んでいた。可愛くてきれいなネコで、女性の話では「買えば10万円くらいはする」との事だった。ここから少し先の御嶽山まで足を延ばすことにする。山頂から西に進み、森林公園への道を左に分けさらに南登山口への道を左に分けて、クサリや鉄ハシゴで岩場を登ると御嶽山山頂に着く。山頂には岩の上に祠があり、祠の裏側からは低山とは思えない程素晴らしい展望が得られる。日光連山や高原山の眺望を楽しみながら、冷えたヨーグルトを食べ至福のひと時。ここから来た道に戻り、東稜見晴台に向かった。東稜見晴台から、東尾根コースを下る予定だったが、濡れたクサリ場の下りは危険なので富士見峠経由で北コースを下ることにする。天気はすっかり晴れ渡り、とにかく蒸し暑い。



それでも登山者は多く、すれ違うたびに「早いぞねえ、何時から登ったのですか？」と聞かれる。途中のベンチがある休憩所では、30名位のパーティーが休んでいた。皆さん頑張って歩いたおかげで、30分以上早く下山出来ランチの店を何処にするか協議する。Tさんの同級生が近くで「タイ料理」の店を出しているとの事で、そこに決め車で向かう。なんと県連事務所に行くときに目印にしていた『象の家』というタイ料理の店だった。ランチコースを2種類頼み、皆でシェ

アして食べることにする。1時間30分掛けてゆっくりいただき、夏山の話など会話も弾み、料理も大変おいしく皆さん大満足のランチタイムとなった。

帰り道、餃子の「正嗣」でお土産を買い、2時過ぎに栃木市運動公園へ帰着した。

今月末からの夏山山行に向けてとても良いトレーニングが出来、少しは自信がついた様子だった。